

No.38

令和4年3月31日発行

編集・発行

北斗会 (旧富山商船同窓会)

射水市海老江練合1-2

TEL (0766) 86-5100 FAX (0766) 86-5110

振替口座 〒00720-1-2631 (ホクトカイ)

[同窓会HP](https://www.toyama-hokutokai.net/) <https://www.toyama-hokutokai.net/>



写真上 表紙若潮丸と新湊大橋
下 乗船実習タンツー

CONTENTS

- 2 特集 震災から10年が経過した

- 5 同窓会長挨拶

- 6 令和2年度 決算報告／令和3年度 予算案

- 7 学内人事／新入会員名簿

- 9 支部会だより

- 12 かたふりコーナー

- 14 学内トピックス

- 16 お知らせ
名簿の正しい管理のためご協力お願いいたします
令和3年度 総会・懇親会のお知らせ
編集後記

特集

震災から10年が経過した

E35 畠山 弘

東日本大震災から10年目が過ぎた。震災当時、私はシンガポールにある川崎汽船の船舶管理会社 K LINE SHIP MANAGEMENT (CHEMICAL) 社勤務だった。震災後、唯一視聴できるNHKニュースにより実家のある気仙沼は津波、その後の大火災で甚大な被害となっていることを知った。電話は繋がらず家族（姉、妹）の安否も知る術は無かったが、翌日（土曜日）姉のTwitterにより姉の行方が分からないことを知った。Twitterの内容は、『叔母が（姉のこと）海岸線にある職場の方に向かって分からなくなった』というような内容だった。連絡したくてもできずその日の昼は近所の日本食レストランで家内と昼食を取ったが、食事が喉を通らず家内と涙をこらえながら食べた記憶がある。その二日後、やはりTwitterで姉の無事が確認され安堵した。



生まれ育った新浜町はがれきの山だった

震災後、多くの富山商船卒業生により私の家族となる姉、妹夫婦が経営する造船所、友人が助けて頂いた。記憶が曖昧なところがあるが間違いがあればご容赦願いたい。

私の故郷、気仙沼は漁業の町であり多くの遠洋及び近海の漁船が水揚げ、補給、休養の為に岸壁に係留しており、その船を建造、修理する造船所もたくさんあった。妹夫婦が経営する吉田造船、両隣には木戸浦造船、澤田造船、少し離れたところにも幾つかの造船所があった。造船所は海沿いにあるが故、震災時の大津波には抵抗するよしもなく、壊滅的な状況となり、更に多くの漁船が陸地まで流された。大型漁船第18共徳丸は海岸から2キロ陸地まで流され、最後は解体されたが、しばらくは県外から大勢見学に来た。

震災後、すぐに行動したのが、気仙沼出身で私とは幼稚園から富山商船卒業まで一緒、ヨット部も一緒だった村上君（高専機関科7期、イースタンカーライナーシップマネジメント社長）だった。彼は韓国に出張してたと思うが、すぐに帰国しその足で灯油、食糧などの支援物資をレンタカーで気仙沼まで運び、私の実家にも届けてくれた。妹の造船所には小型発電機と燃料を運んでくれた。停電が長期間続いたので造船所にとってはとてもありがたいことだった。村上君は東京勤務、3人の息子さん達も気仙沼を離れて働いていた。（一人の息子さんとは、その後、彼が技師として働いていたタイの造船所で会ったことがあり、とても嬉しかった）その為、彼の自宅には奥さん一人で住んでいたが、家を流された中学時代の同級生家族（4人）を受け入れ同居することになった。同居期間は2年くらいだったと思う。同級生であっても他人家族を長期にわたり受け入れた村上君は凄い、とてもできることでは無い。家を流された同級生は数年後、家を建て引っ越した。村上君には感謝の気持ちでいっぱいだろう。

後輩となる西城実君（高専機関科13期、システムエンジニアリング社長）も気仙沼出身。西城君とは、彼が学校卒業し船会社で働いていた頃からの付き合い。二人で24フィートのクルーザーを共同保有したこともある仲。震災後、真っ先に自宅のある千葉から大型ワゴン車で気仙沼まで支援物資を運んでくれた。運んだ回数は10数回となる。姉の家、近所、妹の造船所もその恩恵に授かった。造船所には軍手、作業着、灯油も運んだ。今でも妹は西城様様です、と話している。

震災直後は姉、妹夫婦とは連絡は取れなかったが、数日後からEメール、Twitterなどができるようになり、ようやく実情が分かってきた。当時私は川崎汽船シンガポール社が船主となるケミカルタンカーの管理会社を立ち上げたばかりで3隻のケミカルタンカーは八戸にある北日本造船で建造することになっていた。北日本造船も震災により甚大な被害を受け、結果として最初の船の竣工が三カ月遅れとなった。まだ船の建造仕様書チェックの段階であったが、造船所はそれどころではなかった。私もすることが無く、当時の上司となる K LINE SHIP MANAGEMENT (Singapore) 社の社長だった斎藤寿一先輩（高専航海科3期）の理解の元、許可を得て、気仙沼、特に造船所、漁船の被災状況などについて妹の亭主と連絡を取り合った。多くの漁船が陸上に流されていたことを知った。グーグルアースでも陸に散らばっている船の状況が分かった。それぞれの船の船主さんなどを確認し被災マップも作った。その時、ふと思ったのが進水設備の無い川岸で船を建造する中国の造船所が進水式の時に使うエアバッグ。このエアバッグを使えば陸に上がった船を海岸まで転がして移動できるのでは、と考えた。私はシンガポールで勤務していたので、知合いのISCコーポレーションの堀内社長（弓削商船、高専機関科6期）にこのプロジェクトができないか打診したところ快く請けてくれ、当時、日本財団常務理事であり、富山商船ヨット部先輩の前田晃先輩（高専航海科6期）にそのアイデアを伝え支援を得られないか相談した。記憶では、漁船を海に戻すプロジェクト、というよ

うなネーミングだった。このプロジェクトには現地調査をするスタッフが必要だったが私の同期となる安藤寿君（高専航海科7期、シーロード社長）にお願いした。安藤君は当時、宮城県の大賀城で船の売買を仲介するブローカー会社を経営していたが震災で仕事が閉店休業となっていた。大賀城から気仙沼まで日帰りでも何度も通って調査してくれた。気仙沼には泊まれるホテルが無かった。先の堀内さん、安藤君、堀内さんの同級生の福島さん（弓削高専機関科6期）などがチームを作って現地被災状況の調査、日本財団への説明などをしてくれた。残念ながら私が考えたエアバッグによる陸地の船を海に戻す作業はがれきがたくさんあるため実現不可能とわかりあきらめたが、日本財団は造船所復興の為の支援を素早く対応してくれた。前田先輩（現在専務理事）、当時海洋事業部部長だった海野常務理事にはあらためて感謝したい。



建造中の漁船は他の造船所敷地に流された（安藤君撮影）

後日、前田先輩と会った時に話していたが、震災後、被災地に出向き被災者に現金（5万円）を配ったそうだが、被災地に行く前日、徹夜で日本財団スタッフ総出で封筒に5万円を入れ準備したそう。金額が間違っただけで失礼になるので間違いなくお金を封筒に入れる作業、しかも数万所帯分を準備するのは大変だったと話していた。頭が下がる思いだ。



造船所構内に横たわる漁船（安藤君撮影）

私がシンガポールから故郷気仙沼に里帰りは、5月の連休前だったと記憶している。シンガポールを出

る前日、宮城県出身で富山商船先輩の佐々木有恒先輩（高専航海6期、シンガポールKonlink Shipping, マニラにあるPhelippeBarkoのオーナー）の事務所に行き、明日実家に帰ります、と伝えた。すぐに佐々木先輩が封筒持参で私の会社に来た。『これ持っていけ』ということだった。後から封筒を開けたらたくさんのお金が入っていた。おかげでたくさんのお米を成田空港近くのスーパーで仕込み持参できた。佐々木先輩のお父さんは私の地元の小学校（浦島小学校）で校長先生をしていたことがあった。海沿いにある学校だったが山の麓にあったので学校の被災は免れた。

震災直後でありまだ東北新幹線は開通しておらず、私が帰国した時は、後輩の西城君が成田空港に車で迎えに来てくれ支援物資と共に気仙沼まで連れて行ってくれた。気仙沼出身でアメリカのパークシャーに住んでいたロビンソン律子さん家族（アメリカ人の旦那さんと娘さん）も空港で待ち合わせて便乗。ロビンソンご夫妻も喜んでくれた。西城よ、ありがとう。

私が気仙沼に戻った時は、町はがれきの山で皆が撤去作業中、町中埃だらけだった。吉田造船、隣の木戸浦造船、澤田造船の従業員さんが施設内の片付けをしていた。私が小さい頃住んでいた新浜町周辺はがれきの山だった。涙が出たが地元の人たちは震災後から不眠不休で片付けをしていたので、遠くから来たような俺が泣いている場合では無いと思った。



右から成田空港に迎えに来てくれ気仙沼まで連れて行ってくれた西城君（高専機関13期）、筆者、アメリカから来て気仙沼まで同行した Mr. David Robinson



左から西城君（高専機関13期）、アメリカ在住、気仙沼出身のロビンソン律子さん、娘さん、主人のMr. David Robinson

特集 | 震災から10年が経過した

国の対応はいつもながら遅いのは承知しているが、震災の時も遅かった。ようやく国土交通省の役人が被災状況の視察に来たが、その時に国土交通省と現地造船所関係者の間に入ってサポートしてくれたのがヨット部の後輩、当時国土交通省本省で勤務していた神谷和也君（高専機関科8期、統括船舶検査官、定年退職後、船用工業会の技術部長を経て日本海事協会勤務）だった。神谷君も気仙沼出身。彼が富山商船入学前に我が家に相談に来た時からの付き合いでもうすぐ50年（半世紀）の付き合いとなる。私が運輸省船舶検査官として入省した翌年に私の後を追って船舶検査官として入省したが、私は彼の入省一ヶ月後に転職。（なさけないですね）彼はその後、国土交通省で頑張りノンキャリアトップの統括船舶検査官にまでなった。先輩として誇りに思う。



隣の造船所に流された建造中のサンマ漁船（船体がグレー色）



2キロ内陸まで流された大型漁船第18共徳丸



大型遠洋マグロ船も乗り上げていた



造船所構内で横たわる漁船を海上クレーンで海に移動

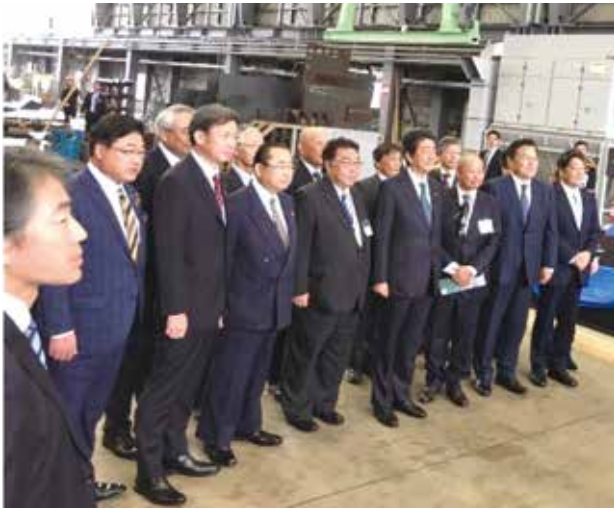
遅かった国の動きもようやく動き出し、国の指導で被災した造船所の集約となり5つの造船所、電気工事会社、機関修理会社が纏まりみらい造船となった。みらい造船には SHIP LIFT という大型船を海からレールで造船所施設内まで移動できる設備がある。こういった設備投資の為に国が100億を超える援助をした。ありがたいことだ。2019年9月みらい造船として最初の進水式を迎え、その後、安倍前首相、地元出身、元防衛大臣の小野寺五典さんが表敬訪問してくれた。私が震災後気仙沼に戻った時に小野寺さんの事務所を訪問した事があったが、その時に一緒に食べた昼食はカップヌードルだった。当時、小野寺さんは作業着、長靴で現場視察をしていた。小野寺さんは東京水産大学出身であり船には非常に理解のある海の人でもある。

震災後、多くの人が亡くなり、私財を失い途方に暮れた日々を過ごした人も大勢いるかと思います。私の友人、知人も亡くなりました。



みらい造船、最初の進水式となったサンマ漁船、かなえ丸

手弁当で復興に尽力された方も大勢いると思います。今日ここで皆さんに知ってもらいたかったのは、震災後、気仙沼復興の為に富山商船卒業生、加えて弓削商船卒業生の方に甚大なサポートがあったということです。あらためて皆さまにお礼を申し上げます。サポートを受けた姉、妹夫婦は、『富山商船は凄い、ありがたかった、素晴らしいネットワークだ、、、。』と今でも話します。少し誇らしくなります。私はその時、遠いシンガポールで何もできませんでした。



安倍前首相、小野寺元防衛大臣がみらい造船に表敬訪問



ユニークな船体デザインのまぐる船、昭福丸の進水式



右より佐々木先輩、堀内さん、筆者



右より村上君、筆者、神谷君

同窓会長挨拶

会長就任にあたってのご挨拶

北斗会会長 玉川 宏(E32)

旧年中は北斗会の運営に格別のご高配を賜り、厚く御礼を申し上げます。会員の皆様におかれましては、コロナ禍で大変な状況下ではございますが、益々ご清祥の事とお慶び申し上げます。

昨年度は新型コロナウイルス感染が急速に再拡大して4度の緊急事態宣言が発出されて、社会生活が大きく制限される事態となりました。その後のワクチン接種が進んで感染者数が大幅に減少して、社会生活や企業活動が徐々に回復しておりますが、新たな変異株によって予断を許さない状況が続いております。このような中、昨年の11月の総会（支部長会）にて永守前会長様の後を受け継いで、会長を拝命いたしました、E32期（商船高専4期）玉川宏と申します。改めまして、どうぞよろしくお願い申し上げます。

明治39年本校創立以来、百有余年の長い歴史を持ち、これまで7,000余名の会員を擁している、この伝統ある北斗会会長と言う重責を任されて以来、課題と言う積荷を乗せながら、新たな船出を迎え、どのように本船（同窓会）の針路を進めれば良いのか？大いに悩み、自問自答している毎日でしたが、先ずは自然体で行動していく事を最優先させていただき、尚一層気を引き締めてまいります。

さて、平成21年10月の母校富山商船高等専門学校は旧富山工業専門学校と統合再編され、令和元年10月には統合後の卒業生を中心とした「富山高専同窓会」が発足して、「北斗会」「ほんごう会」の3同窓会が、相互に連携して活動して現在に至っておりますのは、ご案内の通りです。3同窓会はそれぞれ会員相互の親睦をはかる事は勿論ですが、3同窓会が深く関わりを持ちながら、母校の発展や在校生の支援・サ

ポートしていく事が、活動の大切な目的であると確信しております。幸いにも、「富山高専同窓会」の理事として参画させて頂いておりますので、連携を密にしながら情報発信は速やかに行なっていきたいと考えております。

本会の現況を鑑みますと、先ずは「母校との連携、支援」「会員相互の交流促進」「新卒業生に対する就職支援」「会員への情報発信～会報誌/webサイト」「名簿の管理」「事務局機能強化」「地域・全船協・5商船同窓会等各団体との交流/連携」等々課題が山積しています。

また、近年はコロナ禍の状況下において「withコロナ」が盛んに叫ばれており、生活や働き方/社会構造そのものが、間違いなく変わる事が想定されております。故に、当会の運営に関しても変わっていかねばいけないと、承知いたしております。しかしながら、私だけでは何も出来ません。何も変えられない事は十分に承知いたしております。幸いにも当会におきましては、全国に会員を有して、それぞれが地域性合わせて積極的に活動している、「志を同じくした」心強い仲間が多数在籍しております。故に、この仲間と共に汗をかきながら今後の運営や方向性を決めていきたいと考えております。具体的には、様々な案件についてWebによる「支部長会議」を中心とした場で協議を行い、理事会/総会でお諮りしていく所存でございます。

いずれにしても波高し船出となりますが、大命題である「会員皆様が富山商船の卒業生として誇りを持てる同窓会を目指す」を胸に刻み、邁進して参りたいと考えておりますので、引き続き会員の皆様方へ、ご理解ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、皆様のご健勝とご活躍をお祈り申し上げて、ご挨拶といたします。



東北支部

東北支部が全国高専体育大会出場のチームを激励

[テニス部]

令和3年度の全国高専体育大会は、東北地区で開催が予定されていましたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、いくつもの競技種目で開催が中止または延期され、残念に思っていました。しかし、北斗会本部事務局からテニス競技は開催されるとの連絡を受け、東北支部では北陸地区代表として全国大会に出場する母校の男子テニス部の激励のため、大会前日の8月24日に仙台市内の宿舎を訪問しました。宿舎では顧問の宮崎衣澄先生、塚田 章先生にご対応いただき、部員の皆さんに東北支部からの激励の品として「アミノバイタルゼリードリンク」を手渡し、コロナ禍

の制限のある中での長距離移動を労いました。また、「この状況下で、開催に向けて努力された関係者への感謝の気持ちを忘れず、普段通りの力を発揮し、好成績を取められることを期待します。」と富

山（とみやま）東北支部長から預かったメッセージを伝え、選手諸君を激励しました。

真っ黒に日焼けした後輩諸君は非常に頼もしく見え、好成績を予感させてくれました。折しも仙台はコロナ感染拡大により 厳しい状況でしたので、選手の迷惑にならぬよう明日の試合での健闘を祈念しつつ、早々に宿舎を後にしました。

北斗会東北支部事務局長 N69 千田 茂



男子テニス部員と千田事務局長

[剣道部]

新型コロナウイルス感染拡大の影響で夏の全国高専体育大会が延期になった剣道競技が12月18・19日に仙台高専名取キャンパスで開催されることになり、本校剣道部OBでもあるE33佐藤昌彦東北支部副支部長が宿舎を訪問され、差し入れを頂きました。遠く離れた東北の地で、50年前に同じ武道場で汗を流した先輩からの激励の言葉を頂き、選手一同力強く健闘を誓いました。

なお、9月4日には全国大会出場の陸上部にも東北支部から差し入れをいただきました。

ありがとうございました。

剣道部顧問 E35 水谷淳之介



佐藤昌彦副支部長と女子剣道部員

富山支部

富山支部理事会 5月中旬（あいの風会館）
支部長会 5月下旬（リモート）
総会/理事会 6月4日（土）（電気ビルレストラン）

議題（案）

- ①令和3年度事業報告 令和4年度事業計画（案）
- ②令和3年決算報告（案） 令和4年度予算（案）
- ③全船協 理事立候補と就任報告
- ④その他協議事項
 - ④-1 今後の運営及び3同窓会との関係性

- 3月17日に予定されている賞雅校長（退任）との3同窓会長懇談の内容を踏まえての報告
- ④-2 事務局機能の強化
事務局専属雇用及び事務局経費計上について

- ④-3
その他

関西支部

1. 活動報告

開催を予定していた2021年関西支部総会及び神戸港カッターレース大会は中止。

- 1) 2021年6月 支部長交代
(N68) 川原 勝行 → 新任 (N73) 金山 聡
- 2) 2021年11月20日
支部長：本部総会リモート会議への出席
- 3) 一昨年2020年8月29日コロナの感染状況が少しおさまった頃、三密を避けて神戸港レストラン船「コンチェルト」にて納涼会を開催しました。

(N57) 福地 赳雄 様（写真右からお二人目）は関西支部長、全船協神戸支部長などを歴任され、北斗会の活動にいつもお力添えいただいていたのですが、昨年12月、癌のため永眠されました。

福地様のご冥福を心よりお祈り申し上げます。

2. 活動予定

- 1) 2022年4月23日（土曜）
支部総会及び理事会、懇親会（予定）
理事の異動、リモート会議の内容、今後の会の運営について。



一昨年（2020年）納涼会（於神戸港クルーズ船コンチェルト）

- 2) 2022年5月8日（日曜）
神戸港カッターレース大会（予定）
レース後、慰労会開催。
- 3) 2022年8月コンチェルト船上納涼会（状況次第で、秋～年末に延期開催）
- 4) 状況により対面での開催が難しい場合は、メールによる理事、会員への連絡。
少人数での開催に変更します。
- 5) リモート会議、総会の内容はメール等にて理事の皆さんにお知らせします。

新潟支部

残念ながら新潟からは訃報をお伝えしなければなりません。前支部長で長年にわたって北斗会新潟支部のまとめ役を担ってきた古川隆氏（N61期）が1月1日にご逝去されました。享年73歳、早すぎます。以前胃を患い2/3を摘出したと聞いておりましたがその後は元気な様子でした。私が最後に会ったのが昨年10月末でした。既にかなりお痩せになっていて、それでも“酒は飲めるよ、ガハハ”って例のごとく豪快に笑っていたのですが…残念です。

コロナ禍でなかなか当支部同窓会開催のタイミングをつかめません。2019年4月に開催して以来ズルズルと見合わせております。会員の異動もつかめない状況ですので何か情報がありましたらご連絡ください。皆様もやきもきしていることとは思いますが新潟支部の会合はコロナの収束状況を見極めながら

決めたいと考えております。今まではお亡くなりになった古川氏が当会の事務を一手に引き受けて下さっておりましたので今後の運営に苦慮しているところですが、あるときには100名にもおよぶ会員に案内状を送られたとか…故人の熱意が感じられます。私といたしましても他の会員の皆様のご協力をいただきながら故人のひとかたならぬ北斗会への思い入れに少しでも報いるよう頑張りたいと思っています。こうして原稿を書いているあいだにも”しっかりやれよ、ガハハ”そんな声が聞こえてきそうです。



古川 隆氏 (N61期)

新潟支部長 小坂 徳夫

関東支部

土屋さんを偲んで

前北斗会関東支部長であり全日本船舶職員協会専務理事でもありました航海科59期生土屋 正徳氏は2021年8月19日に73歳の生涯を閉じました。人生100年時代と云われている昨今あまりにも早い旅立ちでした、さぞかしご無念であったのではと拝察いたしております。改めて心よりご冥福をお祈り申し上げます。

旅立後100日目にあたります11月26日に偲ぶ会が開催されました、経営されていた会社の役員さん・社員さん、学校関係者、国会議員そして北斗会の会員と多くの方々が参会され土屋さんのお別れを惜しんでおられました。土屋さんのご人徳とご功績の大きさを感じました。

土屋さん和小生の出会いは2015年の秋に行われた支部総会の場だったと記憶いたしております、その総会で支部長就任が決まるいなや北斗会の改革に着手し、北斗会の活動内容の見える化・人的交流の活発化を電光石火のごとく進められました、その最たるものは2016年7月に東京のご真ん中銀座で開催した富山商船創基110周年記念式典ではなかったでしょうか？開催を支部理事会で決議したのはまさしく東奔西走、一騎当千のご活躍にて産学官よりも賛同を戴き5商船を巻き込んだ盛大な会と成りました、富山商船の面目躍如と云ったところでしょうか。

この会を機に、例えば横浜港のカッターレースでは5艇準備しても足りないほど会員が横浜港山下公園に集結、その後の懇親会はお店を1軒8時間ほど貸切るまでに盛り上がり会員の交流が活発になりました。本当に感謝の思いでいっぱいでございます。

また、関東支部独自で会報誌を発行したことも忘れてはなりません、本誌はVol.5まで発刊済みにて会員の情報発信・交換するTOOLとして北斗会の活性化に寄与しているものと確信しております。ご遺志を引継ぎVol.20、Vol.30と続けていくことが我々後輩に与えられた使命です、どうか会員の皆さまお力添えをお願いいたします。

本会報誌の発刊にあたりましては前国際流通学科長の館様に執筆者の推薦・紹介等々で多大なるご支援を頂戴しておりますこと申し添えます。



土屋さんを偲ぶ会にて

北斗会を取り巻く環境も大きく変わろうといたしております。富山商船と富山工専が一緒になり富山高専が誕生してはや10年、新しい同窓会も立ち上がりました、これから富山商船を卒業した会員は新しい同窓会を支えていかなければ成りません、いつまでも富山商船に拘っては何にも生まれません、我々北斗会（旧富山商船同窓会）の会員一人一人が意識を変えて今はやりの言葉で言えば寛容性・多様性の心を持たねば成りません。北斗会と新しい同窓会との融合に土屋さんは気をかけられておられました、北斗会の各支部へ富山高専卒業生が自由に出入り出来るよう広報活動に力を入れて参りましょう、どうか土屋さんご安心ください。

先輩としての土屋さんは海軍の3S精神『スマートで、目先が利いて、几帳面、負けじ魂、これぞ船乗り』を率先垂範されており、偉大なるCAPTAINでした。富山商船をこよなく愛し先輩には厳しく後輩にはやさしく、本当に面倒見の良い方でした。

ウイスキーを片手に奥様とのゴルフマッチを語るはにかんだ笑顔が忘れられません、ゴルフ下手な小生には『長谷川君、ゴルフは練習だ、8トントラック数台分のボールを打たないと上手くなれんよ』と冗談交じりに語っていただきましたが、小生の負けじ魂は未だに眠ったままです。土屋さんが所有されている会津の別荘（通称ブルーハウス）でのゴルフ合宿、満点の星を眺めながらのBBQと本当に後輩がお世話に成りました、有難うございました。

土屋さんは会社を経営しながら全日本船舶職員協会の専務理事として商船学校卒業生の職域確保・拡

大、練習生の食料金国庫負担の継続、練習船の代替建造等々を推進・実現するために政官との交渉にも尽力されました、練習船の代替は2校で着手・予算獲得済み残り3校も進行中と聞き及んでおります。5商船にとりましてもかけがえの無い方を失いました、残された理事の方々が土屋さんのご遺志を引き継ぎ5商船の代替をしっかりと見届けてくださるものと確信いたしております。

海運の現場（船舶職員・部員）では昭和50年代前半より日本人船員にとってかわり人件費の安い外国人に頼る様になりました。今一度日本が海洋立国であることをしっかりと自覚し、社会基盤である海運の重要性をうたえていく必要が有るうかと存じます。また、経済安全保障・海洋政策、企業の持続性、

船舶の安全運航・環境保全等々を考慮せば日本人船員の育成・拡大は喫緊の課題です。土屋さんは本問題も非常に憂慮されておられました。北斗会会員の一人一人が声をあげて参りましょう、時間は限られております。

骨身を惜しまず母校、海運業界の発展のためにご尽力された土屋さん、本当にお疲れ様でした、これからは未熟な後輩たちでは有りますが、土屋先輩のご遺志を引継いで参ります。どうかご安心してゆっくりとお休みください。有難うございました。

令和3年12月3日

関東支部長 長谷川 徹

北斗会HPについて

ホームページ URL : <https://www.toyama-hokutokai.net/>



会報のバックナンバーも順次掲載中です。
スマートフォンからもアクセスしやすくなっています！気軽にアクセスください！

住所変更等の問い合わせについてもページ内のお問い合わせフォームにて受け付けております。（受付後、改めてメールにてご連絡する場合があります。）



↑QRコードはこちら↑

HPへの
広告バナー掲載も
募集中です！

みなさん、こんにちは。2008に電子制御工学科を卒業した吉原洸太です。在学中はメカトロ技術研究部に所属し、高専ロボコンにも参加していました。

私は現在、株式会社シキノハイテックに勤務しています。

会社では画像処理や産業用カメラ、ICに温度や電圧をかけてテストする装置の開発・製造などを行っています。その中で私は、画像処理回路をメインとしたFPGA (Field Programmable Gate Array) を使った設計をしています。

FPGAは掲載した写真のようなデバイスです。繰り返しプログラム可能なLSIで、HDL言語というプログラム言語を用いてLEDの点灯からセンサーの制御と様々な回路が実現できます。

画像処理を行う際には多くの計算をする必要があり、システム工学で学んだデジタル演算の経験が活かさ

れていることを実感しています。また、測定機器の扱いや回路図が読めることから評価業務にも携われるようになりました。

今、これを執筆して思うのは温かくご指導下さった教官方への感謝の気持ちです。

これからも日々精進し、誰よりも頼られるエンジニアを目指して頑張っていきたいと思います。



久しぶりの掲載です

以前に掲載させていただいたことのあるD5の石田勝志と申します。掲載内容は、当時就職した立山アルミニウム工業(株)の仲間達と一緒に、欽ちゃんの仮装大賞に出場した話だったと記憶していますが、今回は政治の話になります。

私自身が、令和3年11月14日に実施された射水市議会議員選挙に立候補した話にしようと思います。

そもそも多くの候補者は立候補をする際に、ある程度の後ろ楯があるものです。しかし私の場合は全く組織的な後ろ楯がなく、地元地域の中でも正に無名からのスタートでした。ですから私は、縁があります富山商船高専の同窓会組織に、力を貸して欲しいと頼ろうと考えました。

ところが、世の中そんなに甘くは有りません…。長年同窓会のお世話をしておられる射水市在住の元教官からは『今まで同窓会に顔を出した事もないのに都合の良い事ばかり言うな。地元中学校の同級生でも頼ったらどうだ?』と厳しいアドバイスを頂く事になります…。元教官の仰られる通りですし、もっとひどい言葉を使われる方々も結構居られます。この逆風の強さは想定の内ですし、完全ド素人の私は誰に何を言われても余りめげません。

それでも地道に活動を続ける中で、終盤では『キミは俺の(商船の)後輩だぞ! 頑張れよ!』と応援して下さい先輩方からも声を掛けて頂けるようになってきました。これまで会話もした事が無い、無名の新人に対しても応援して下さい本校卒業生の絆に、涙が出るほど感激しました。

結果として、自分が思っていたよりも良い成績で当選する事が出来ました。ご支援下さった皆様へ、この場をお借りして心より御礼を申し上げます。ありがとうございました。

投票日の翌日には当選証書を付与されました。

写真は、当初より無条件で応援して下さい恩師・水谷教官への報告に伺ったところです。

さて、本校射水キャンパス付近におきましては足洗瀉公園周辺の魅力向上を目指し、射水市・社会福祉法人・地元地域振興会・そして本校の学生が連携し、大規模なまちづくりが進められています。

この事業には、多くの市民が関心と期待を寄せており、私自身も現役学生の皆様との交流を楽しみにしています。

参加された本校学生の皆様の活躍が、地域福祉の発展・賑わいの創出に寄与されますよう祈念しまして、私の近況報告とさせていただきます。



古希の挑戦

商船高専航海科二期生 松倉 勝実

新型コロナウイルス3年目に入るこの時に、私の喜寿の挑戦が始まった。

卒業後、全日空に入社した。定年退職後、故郷富山に帰り両親と暮らしながら母校の非常勤指導員をし8年目を迎えた。

地域への貢献のため立山町環境保健衛生協会新川地区代表理事をしながら自治会区長も兼任していた。昨年の12月に入り、地域の方から立山町町会議員選挙に立候補して欲しい旨の話を貰った。詳しいことは割愛する。投票日は1月30日である。

私は、この話を受託した。批判は重々覚悟の上で地域のためにとの思いで決意した。この日12月8日は誕生日だった。

私の住む若宮は、56世帯の少数自治体である。早速、幼馴染数名で集いスタートした。後援会を作り県に届けて自治会の推薦を得る。この時点で12名の中核母体が出来た。出来たと言え、我が軍団は、素人メンバーであった。後援会パンフレット作成し新川地区全所帯に配布した。12月21日の事前説明会に参加し詳しい説明を受け沢山の申請書類等もらう。

私の住む新川地区は、立山町最北端富山地方鉄道寺田駅を中心とする位置で立山北部小学校校下であり1000世帯が居住する。キャッチフレーズは、ふるさとを守るとした。3モットーは、1、住民に寄り添い住民とともに行動する。2、住民への奉仕に徹する。3、困っている人、弱い立場の人の声に耳を傾け、その声を届ける。

新川地区には、13の自治会があり、この自治会の推薦をもらうために奔走する。艱難辛苦の末、新川地区区長会の推薦を得ることが出来た。言葉に代えがたい喜びであった。この時点で、1月8日であり告示まで2週間余りに迫っており薄氷を踏む心境であった。ポスター、選挙はがき、広報作製、選挙カー手配、電話

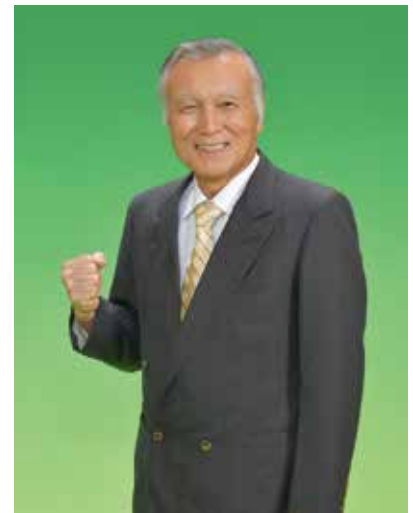
作戦に使う臨電ならぬ携帯を短期間借入、電話作戦用名簿作成、事務所開き等々やっとの思いで告示日を迎えた。事前運動ほとんどなし本番突入です。

5日間は、あっという間に過ぎ去った。演説会なし、選挙カーでの訴えと、13公民館での街頭演説だけが、自身の肉声でのアピールと住民とのグータッチでの触れ合いでした。日増しに人数も増え延べ200名近い参加を得ました。無事に終え審判を待つまでの時間が不安と恐怖で一杯でした。結果は、上位6位当選でした。

選挙を手伝ってくれた仲間は、幼馴染が中心で、小中学校の親友が加わり、そして、忘れてならない商船高専の親友達が全国から支援してくれた。自治会の区長さん等々、仲間が仲間を呼び、親戚等々が加わり、無償のボランティアの連帯で勝利を勝ち取ることが出来ました。一人一人に感謝で一杯です。この上は、選んで下さった皆さんに恥じない4年間を決意しています。

2月1日に当選証書を貰い実感がわいてきました。10日から任期が始まりその日から、寺田駅前に立ち中学生と高校生に笑顔で挨拶しています。その後、北部小学校交差点で小中学生を出迎えています。これからの未来の宝にエールを送ります。3月から定例議会が始まり本格始動します。

私の挑戦は、ふるさとを守り町民の暮らしを守る終わりのない船出です。



放生津八満宮

E14 堀口 兵策

旧母校の近くに所在する同神社は奈良時代に越中国司を務められた大伴家持が創建されたと伝えられている由緒ある神社である。

私、昭和27年入学当時上級生が新入生を学校周辺を案内する習わしがあった。先ず最初に訪れた場所が当神社であった。2礼2拍1礼を教えられ真摯な気持ちで参拝した事が懐かしく思いだされる。当時神社の裏側はすぐ海岸で日本海が一望出来たが今は埋立てられ魚市場倉庫等が並び時の変遷が感じられる。しかし境内は昔と変わらず潮の香りが漂い松籟の中に美しい姿を見せている。

ここは私の青春の思い出の場所であり参拝の折には夢と希望を語った級友同窓生を想い今も健勝であります様祈願致しております。

第十回大伴家持郷顕彰詩歌の会に応募

“いにしえも 今も未来も つつがなく
家持祈る 民のやすらぎ”

(天位入賞、令和2年8月22日奉納)



学内トピックス

■ 商船学科卒業証書授与式・専攻科海事システム工学専攻修了証書授与式

令和3年9月28日、射水キャンパス第2体育館にて、令和3年度商船学科卒業証書授与式及び専攻科海事システム工学専攻修了証書授与式を挙行了しました。商船学科37名へ卒業証書が、海事システム専攻修了生5名へ修了書が手渡され、賞雅校長が一人一人に証書を手渡し、「本校で学んだ技術、問題解決能力、コミュニケーション力、我が国の海事産業、そして世界の発展に生かしてほしい」と告辞がありました。



卒業生・修了生代表答辞

た。続いて、在校生代表の電子情報工学科4年 大井悠翔さんから送辞を受け、卒業生・修了生を代表し、商船学科の坂川幸仁さんが、「一海事技術者として、社会からの期待に力強く答えられるよう精進したい」と述べました。式の最後に卒業生達は、登壇礼の儀式ならって「ごきげんよう」を三唱した後、制帽を宙高く投げる伝統の別れのパフォーマンスを行い、本校での学生生活を締めくくりました。



登壇礼

■ 令和3年度 卒業証書・修了証書授与式

令和4年3月10日(木)、富山県芸術文化ホール(オーバード・ホール)において、令和3年度卒業証書・修了証書授与式を挙行了しました。射水キャンパスから電子情報工学科38名、国際ビジネス学科40名、制御情報システム専攻13名、国際ビジネス学専攻5名が



卒業証書・修了証書授与式

卒業・修了しました。今年度も新型コロナウイルスの影響で在校生は出席せず、保護者の人数も制限される中での実施となりました。卒業式後、富山高専同窓会の七軒彩香副会長(国際ビジネス学科3期生)より同窓会活動の説明が行われました。



同窓会活動説明

■ 新任教員あいさつ

令和3年4月から商船学科(機関コース)教員に着任しました小林です。私は富山商船を平成19年に卒業し、富山商船海事システム工学専攻科に入学、卒業後、独立行政法人航海訓練所(現海技教育機構)の練習船教官として勤務していました。大型練習船で日本各地や海外を周り、全国にある商船系の実習生を教えました。

この度、教員として母校に戻りました。今の学校では、私が在学していたころからは色々と進化して

小林 大 (NE15) (平成19年度卒業)

いて驚くことが多いです。teamsやテレビ会議など、アナログな私はまだ使いこなすことが出来ていません。生活様式が変化している昨今、対応できるように頑張っていきたいと思います。しかし、元気な学生の姿を見ていると昔からの伝統を継承している場面も見られ、うれしく思います。富山高専の学生がどこまでも飛躍できるように、これまでの知識や経験を学生に伝えていけるよう頑張ります。

■ 富山商船高等学校元校長 吉田卓也先生を偲ぶ

賞雅 寛而

富山商船高等学校元校長の吉田卓也先生が、令和3年5月にご逝去なされました。

平成10年に吉田先生は東京商船大学を退職され、第17代校長の竹村先生、第18代校長の及川清先生の後を担って富山商船高等専門学校に第19代校長として赴任されました。5年間にわたる校長生活の中で、学生教育指導及び学生寮他の施設整備にご尽力なされています。中でもクラス対抗カッター大会、ロボコン全国大会優勝（平成14年）他のクラブ活動などの学生生活の活性化により県内認知度を高め、入学志願者増による優秀な人材の確保ひいては優秀な海事人材を輩出なされたことは、本校の120年弱

にわたる歴史において特筆すべきことでしょう。

私（賞雅）自身は、吉田先生の敷かれたレールに沿って、海洋大学を退職後、校長職に勤しんできましたが、大学においても、また本校においても吉田先生が残された想いを日々感じながら、先生のご功績にいま追いつくことができていることに忸怩たる思いです。

奥様の言によれば、吉田先生はご持病による入院加療後、ご自宅で安らかに逝かれたそうです。

不肖の弟子として、また現校長として、先生のご冥福を心より祈ります。

■ 校長の退任にあたって

賞雅 寛而

本年3月をもちまして富山高専校長を退任いたします。

永守徹前会長・玉川宏会長をはじめとして北斗会の会員および関係者の皆様には任期中の本校へのご支援・ご協力をいただき、心より御礼申し上げます。

別稿に示しましたように、吉田卓也先生他竹村数男先生・及川清先生などの東京商船大学の諸先輩方の敷かれたレールに沿って、平成29年4月に富山高専に校長として赴任いたしました。

射水のキャンパスにはそれまで何回か伺わせていただいておりますが、高専の教育体系については存じ上げていませんでした。幸い、旧知の水谷淳之介先生に副校長として非常に強力にサポートしていただきましたので、何とか校長としての初年度を務めることができました（水谷先生には、昭和58年4月から61年3月まで東京商船大学の当方の研究室の助手としてご勤務いただいております）。

おかげさまで高専が、15歳から本科卒業の20歳まであるいは専攻科修了の22歳までの、人生の最も成長する時期に、先端的研究者・技術者から専門分野の基礎から応用までを習得できる世界でも稀有の教育システムであること、また先端的研究者から各分野の専門を習得するのは大学と同様ですが、15歳からという最も学習効果の高い時期の習得は大学より優れている教育システムだということを理解できるようになりました（本校のキャッチフレーズ「15歳からはじまるカレッジライフ」はその特性を具現化したものです）。

本校は、商船高専と工業高専が統合した全国で唯一のスーパー高専ということが特徴ですが、赴任直後の本校は統合後8年たったにもかかわらずキャン

パス間の交流がほとんど無く、本校の特性を生かしていませんでした。平成29-30年当時はまだ遠隔会議も一般化しておりませんでした。キャンパス別に集合で行なわれていた学内の会議を「ワンカレッジ化」のスローガンのもと全学的に遠隔で行うようにいたしました。時間はかかりましたが、教職員の皆さんが遠隔会議に慣れてきていたためということもあり、令和元年春のコロナ禍で全国の大学高専の中で最も早く遠隔講義を行えたという効果もありました。

このように本校がその特性を生かしてブランド化されるよう、すなわち「学生・教職員にとっては楽しく、中学生にとってはあこがれの、卒業生にとっては誇り」になるように、教職員一同努めてきています。

これからも北斗会の皆様のご協力も得て、卒業生の皆様に誇りにしていただける富山高専であり続けられることを、心より願っております。



商船学科卒業式で答辞を受領。
外航船乗船に心を躍らせていた自分の卒業式を思い出します。

■ R4年度 北斗祭の開催について

5月20、21日に北斗祭が射水キャンパスで実施予定です。以前、コロナ禍であることが予想され大変な時期の中で開催ということになりますが、感染

<https://www.nc-toyama.ac.jp>

対策を徹底し実行委員会を中心に成功に向けて取り組んで参ります。北斗祭の情報は上記URLにて更新されますので是非ご覧下さい。

令和3年度

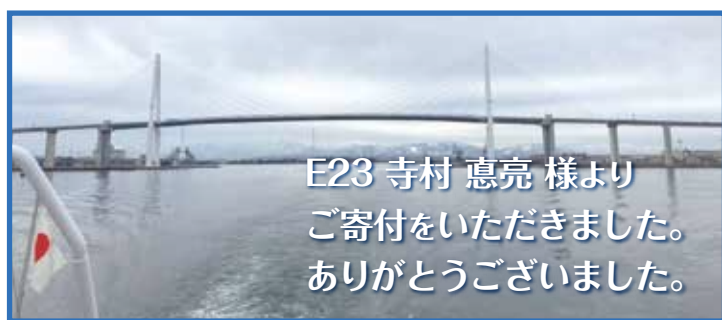
お知らせ
総会・懇親会
の

日時 令和4年6月4日(土)
14:00～ 理事会
17:00～ 総会
18:00～ 懇親会

場所 富山電気ビルレストラン
〒930-0004 富山市桜橋通り3番1号
TEL:076-432-4111

懇親会費 5,000円(女性3,000円)
(令和3年9月、令和4年3月に卒業した)
会員は無料

※準備の都合上、出席の有無は5月10日までに
同封のはがきでお知らせください。



E23 寺村 恵亮 様より
ご寄付をいただきました。
ありがとうございました。

お知らせ 富山県営フェリーの 人員募集について

富山新港のフェリーボートは老朽化と高齢化で悩んでいます。このままでは廃止になってしまうと堀岡住民は困っています。再雇用しか採用できないというお話ですが、卒業生の中で第二の故郷のために力になってくださる方はご連絡下さい。71歳まで働けるそうです。よろしくお祈りします。

連絡先 金川 欣二 milan3kana@gmail.com

北斗会名簿の正しい管理のために ご協力お願いいたします

年に一度配布しております北斗会会報ですが、発送先の差し戻しが多いため住所変更などの直近の情報提供にご協力願います。住所等の変更があった方は、総会の出欠ハガキの裏面にご記入いただき、郵送いただきますようよろしくお願いいたします。

令和2年度定期総会・懇親会のお知らせ

令和3年度の定期総会・懇親会は下記の日程で開催致します。

日時	令和4年6月4日(土)
	14:00～ 理事会 16:00～ 総会 17:00～ 懇親会
懇親会費	5,000円(女性は3,000円)
場所	富山電気ビルレストラン 〒930-0004 富山市桜橋通り3番1号 TEL:076-432-4111 FAX:076-432-4110

出欠の有無を5月10日までにお知らせ願います。

総会	出席	・	欠席
懇親会	出席	・	欠席

ご氏名	N・E・NE・S・D・I・K	期
ご住所 〒		
TEL		
ご勤務先		

●住所等に変更がある場合、チェック☑を入れて下さい。→☐変更有り

こちらに
記入

同窓会事務局へご連絡ください。

同期会の開催などの同窓生近況をご連絡ください。また、お住まいの地域にて、どの同窓会支部へ連絡したら良いか、支部総会に参加したいが連絡をどこへしたら良いか、など支部や支部活動に関するご相談もお気軽にお問い合わせください。

連絡先

北斗会(富山商船同窓会)事務局
〒933-0293 富山県射水市海老江練合1の2
富山高等専門学校内

編集 後記

会報の編集に携わっていると、同窓会にご尽力頂いた方の訃報や若くしてお亡くなりになる方の訃報を聞くこととなります。北斗会の運営で大変お世話になった方や数年前に話したばかりの方の訃報は、悲しみと空虚感にさいなまれます。人の人生は本当儚いものだと感じ、亡くなられた方の功績に深く敬服いたします。学校生活では、今年度も新型コロナウイルス感染症が学校生活に大きな影響をもたらしました。リモート授業が二週間程続き、感染者を増やさない当然の配慮とはいえ、学生のチャンスの機会が失われているように思います。早く感染症と付

き合うwithコロナの生活基盤が整うように願うばかりです。令和3年度の北斗会事業活動については、本会の主イベントである総会の対面開催が2年連続中止になり、支部長を繋いでのオンライン開催になりました。この会報誌を発行できるか不安な面もありましたが、多くの同窓会員からお便りが寄せられましたことに感謝申し上げます。以前、不透明な状況が続くと思われませんが、同窓会報では学校や皆様の活動の様子を少しでもお伝えしていこうと思います。支部会や同期会などリモートでも会員の皆様が活動されたことがありましたら、その時の様子を同窓会事務局までお寄せ下さい。(NE12 池野 一成)